

コ ー ス	保存修復学講義・保存修復学実習 (Restorative Dentistry Lecture & Lab class)		
学年・期・単位	第4学年・前期・3単位	科目担当責任者	寺中 敏夫 (口腔治療学講座 保存修復学分野・教授)
オフィスアワー	水曜日17:00～18:00 (第2研究棟2階寺中教授室)	メールアドレス	講義：寺中敏夫 (teranaka@kdcnet.ac.jp) 実習：向井義晴 (mukaiyos@kdcnet.ac.jp)
一般目標 (GIO)	<p>【講義】 歯およびその周囲組織に生じる疾患や形態異常の病的状態を診断し、多種多様な修復法の原則と治療法から予後管理法にいたる一連の臨床的意義について修得し、歯質、歯髄および歯周組織を損傷することなく保存してその機能回復を図ることが歯科医学上極めて重要であることを理解する。</p> <p>【実習】 保存修復学講義で学習した知識を基に、齲蝕を代表とする歯の硬組織疾患、歯髄疾患ならびに歯周疾患に対する理解を深め、臨床における治療を想定した模型実習を行うことにより、基本的治療法を修得する。</p>		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯科保存学序論	歯科保存修復学がどのような学問であるか、またその目的、適応症、禁忌症を理解する。
2. 歯の硬組織疾患	齲蝕、くさび状欠損、摩耗、咬耗症、知覚過敏症などの硬組織疾患について、臨床的立場からその好発部位、病因、病態、症状、検査法、診断法、治療法ならびに継発疾患の発生予防の原則を理解する。
3. 窩洞と窩洞形成機器	種々な回転切削器具、手用切削具、レーザーやエアブレイシブの特性と使用法、窩洞の名称、窩洞形態の原則を理解する。
4. 歯髄保護、修復材料の性質、修復物の形状	切削および修復時の歯髄保護の必要性を理解し、その具体的な対策法、修復材料の所要性質や特性、ならびに修復物の形状、表面性状などを理解する。
5. 修復時の補助法	修復時に多用される除痛法、防湿法、歯肉排除法、歯間分離法、隔壁法等の補助法それぞれの特徴や使用目的、使用する器具、使用法などを理解する。
6. メタルインレー修復法	鑄造修復法の特徴や窩洞の特徴、ならびに鑄造修復物作製過程における印象、模型、インレーワックス、埋没法、鑄造法を理解する。
7. 合着、および接着性セメント	修復物を窩洞に合着・接着させるセメントの所要性質や組成ならびに使用法を理解する。
8. 接着性コンポジットレジン修復法	接着理論、およびエナメル質と象牙質、修復物に対する接着技法、ならびにコンポジットレジン修復の特徴、適応症や窩洞の特徴、臨床術式を理解する。
9. グラスアイオノマーセメント修復法	グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメントの組成や硬化機構、特徴、適応症、修復法などについて理解する。
10. 審美修復法	コンポジットレジンインレー、セラミックインレー、キャストブルセラミック (結晶化ガラス) や CAD/CAM による修復法の窩洞の特徴、適応症、製作手順や特徴を理解する。
11. 変色歯の漂白	無髄歯および有髄歯の漂白法それぞれの適応症や治療法について理解する。
12. 知覚過敏の処置、破折歯の処置	象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断と処置法について理解する。破折歯の原因や診断、処置法について理解する。
13. アマルガム修復法	アマルガム修復の理工学的特徴、適応と特色、窩洞形態、歯髄保護、臨床的操作法などを理解する。

教科書〈講義〉		
書名	著者名等	発行所
A 保存修復学 (第5版)	平井義人、寺中敏夫 他	医歯薬出版
B 保存修復臨床ヒント集	寺中敏夫、寺下正道 他	クインテッセンス

参考書〈講義〉		
書名	著者名等	発行所
Operative Dentistry 5th ed	Harold O. Heymann 他	Mosby
保存修復学臨床ガイド	千田 彰 他	医歯薬出版
保存修復学21	田上順次 他	永末書店
う蝕治療ガイドライン	日本歯科保存学会 編	永末書店

評価法 (EV)
小テスト・出席状況 (10%)、前期中間試験 (30%)、前期本試験 (30%)、実習成績 (30%) による総合評価

授業計画 (講義)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/6 2時限	序論 歯科保存学	1. 歯科保存修復学がどのような学問であるかを説明できる。 2. 修復法の種類、目的、適応症、禁忌症を列挙して説明できる。	A P1~54。B P1~47の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	F-3-1)-①②③④、 F-3-4)-(1)-①②  総(IV)-4-A~E、J 各III-(1)-1, 2, 3, 4 必6-C-a, c
2	4/6 3時限	歯の硬組織疾患	1. エナメル質、象牙質の特徴を説明できる。 2. エナメル質と象牙質の構成成分の違いを対比して説明できる。 3. 歯の形態異常、くさび状欠損、咬耗、摩耗症、酸蝕症および Tooth Wear の病因、特徴、好発部位、臨床病理像、について説明できる。 4. 象牙質知覚過敏症の病因、病態、検査、診断、処置法について説明できる。	A P54~66。B P1~47の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	F-3-2)-①② F-3-3)-(1)-①②  総(IV)-4-A~E、J 各III-(1)-1, 2, 3, 4 必6-C-a, c
3	4/6 4時限		1. エナメル質齲蝕の病因、リスクファクター、特徴、好発部位、臨床病理像および進行について説明できる。 2. 象牙質齲蝕、根面齲蝕の病因、リスクファクター、特徴、好発部位、臨床病理像および進行について説明できる。 3. 齲蝕の検査・診断法を的確に説明できる。 4. 齲蝕の検査・診断に使用する補助器具や材料を説明できる。	A P54~93。B P1~47の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	F-3-4)-(1)-⑦ F-1-1)-④  必9-B-b, C 必11-D-a, E-a 各I-A
4	4/6 5時限	形成機器 窩洞と窩洞	1. 回転式切削器具の種類と用途について説明できる。 2. 手用切削器具の種類と用途について説明できる。 3. エアブレイシブ、レーザーによる歯質の形成について述べるができる。	A P93~103。B P1~47の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-2-⑤ F-1-1)-③  各III-I-4-D
5	4/13 2時限	窩洞と窩洞形成機器	1. G.V.Black の窩洞の分類を定義できる。 2. 窩洞を分類できる。 3. 窩洞の名称を具体的に述べるができる。 4. 窩洞の原則を列記して説明できる。 5. 自浄域と不潔域、予防拡大を配慮した窩洞の設定条件が説明できる。	A P104~120。B P50~56の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	F-3-1)-② F-3-4)-(1)-④⑤⑥⑦⑧  必15-N, O 各III-I-4-D
6	4/13 3時限		1. 保持形態の原則、基本的保持形態や補助的保持形態について説明できる。 2. 抵抗形態について説明できる。 3. 高縁斜面や高縁隅角などについて関連づけて説明できる。 4. 便宜形態の意義と種類を説明できる。	A P104~120。B P50~56の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	F-3-4)-(1)-②  必15-N, O 各III-I-4-D
7	4/13 4時限	修復物の形状 歯髄保護、修復材料の性質	1. 歯髄刺激の要因、保護対策を述べるができる。 2. 裏層、仮封、覆髄について説明できる。 3. 非侵襲生歯髄覆髄法 (AIPC) について説明できる。 4. 修復材料の所要性質について理工学的、生物学的な面から説明できる。 5. 修復物の外面形態、内面形態、表面の性状について説明できる。	A P120~136, 146~148。 B P50~56の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-1-①~④ E-2-①⑤ F-3-4)-(1)-⑤  各III-I-4-E
8	4/13 5時限	助法 修復時の補	1. 除痛法の種類や方法について説明できる。 2. 防湿法に使用する器具とその目的、使用法を説明できる。 3. 歯肉排除法の目的、種類、方法を説明できる。 4. 歯間分離法の目的、種類、方法を説明できる。	A P136~145。B P50~56の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	F-1-3)-(3)-⑤  各II-(1)-13-A~E
9	4/20 2時限	メタルインレー修復法	1. 鑄造修復法の特徴、適応症を列挙できる。 2. 窩洞の特徴について説明できる。 3. 各種印象法を説明できる。	A P223~255、B P124~132の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	F-3-4)-(1)-③  各III-I-4-D 総XI-4-E, F, G, H, I
10	4/20 3時限		1. 印象材を分類できる。 2. 各種印象材の成分、特徴、使用法について説明できる。 3. 模型材の所要性質を列挙できる。 4. 歯科用石膏について説明できる。	A P223~255、B P124~132の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-2-①②  総XI-4-E, F, G, H, I 総XI-5-A
11	4/27 2時限		1. インレーワックスの組成、特徴について説明できる。 2. 寸法変化を低減する蠟型採得法について具体的に説明できる。	A P223~255、B P151~162の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	F-3-4)-(1)-③⑨  総XI-6-A
12	4/27 3時限		1. 埋没の前準備から埋没材の所要性質や埋没法の種類などを説明できる。 2. 鑄造用金属の性質や鑄造時の寸法変化、鑄造欠陥などについて説明できる。	A P223~255、B P151~162の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-2-③④  総XI-12-B, D, E
13	5/11 2時限		1. 鑄造体の模型上での試適を説明できる。 2. 鑄造体の仕上げ研磨の方法を説明できる。	A P223~255、B P151~162の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	F-3-4)-(1)-③⑩  総XI-3-A, B
14	5/11 3時限		1. 口腔内試適から合着を説明できる。 2. 鑄造修復物の予後に生じうる不快事項について、窩洞形成から合着までの一連の流れの中で説明できる。	A P223~255、B P151~162の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-2-⑤  総XI-14-A~D
15	5/18 2時限	着性セメント 合着、および接	1. 合着用セメントの所要性質を説明できる。 2. リン酸亜鉛セメントの組成、特徴、用法を説明できる。 3. カルボキシレートセメントの組成、特徴を説明できる。	A P287~296。B P189~192の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-1-②~④  総XI-14-C, D

授業計画 (講義)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
16	5/18 3時限	着性セメント 合着、および接	1. カルボキシレートセメントの用法を説明できる。 2. グラスアイオノマーセメントの組成、特徴、用法を説明できる。	A P296～299。B P189～192の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-1-②～④ 総XI-14-C、D
17	5/25 2時限	接着性コンポジットレジン修復法	1. 接着システムの前処理剤の組成、特徴、用法を説明できる。 2. 前処理剤による歯質の形態的变化を説明できる。 3. 接着システムのプライマーの組成、特徴、用法を歯質と関連づけて説明できる。 4. MI (ミニマルインターベンション) について説明できる。	A P159～165。B P176～188の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-1-①④ F-3-4)-(1)-④ 総XI-7-B
18	5/25 3時限	接着性コンポジットレジン修復法	1. 接着システムのセルフエッチングプライマーの組成、特徴、用法を歯質と関連づけて説明できる。 2. ボンディングレジンの組成、特徴、用法を歯質と関連づけて説明できる。	A P159～165。B P176～188の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-1-①④ 総XI-7-B
19	6/1 2時限	接着性コンポジットレジン修復法	1. エナメル質との接着について説明できる。 2. 象牙質への接着について説明できる。	A P159～165。B P176～188の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-1-①④ F-3-4)-(1)-② 総XI-7-B
20	6/1 3時限	接着性コンポジットレジン修復法	1. 修復材料と接着材との結合について説明できる。 2. 接着の評価法や臨床手順について説明できる。 3. レジンコーティング法について説明できる。	A P159～165。B P176～188の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-1-①④ 総XI-7-B
21	6/8 2時限	接着性コンポジットレジン修復法	1. コンポジットレジンのマトリックスレジンの組成、特徴を説明できる。 2. フィラーの組成、構成、特徴を説明できる。	A P149～159。B P129～138の主要部分を解説する。配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-1-①④ 総XI-7-A
22	6/8 3時限	接着性コンポジットレジン修復法	1. コンポジットレジンの組成、物性、特徴を説明できる。 2. 光照射器について説明できる。	A P149～159、165～168。 B P129～138の主要部分を解説する。配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-1-①④ 総XI-7-A
23	6/15 2時限	接着性コンポジットレジン修復法	1. コンポジットレジン修復の適応症や特徴を列挙できる。 2. 接着性コンポジットレジン修復窩洞の特徴、形成法を説明できる。	A P168～186。B P129～138の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	F-3-4)-(1)-③⑩⑬ 各III-I-4-B、D、E
24	6/15 3時限	接着性コンポジットレジン修復法	1. 接着性コンポジットレジン填塞時に用いる隔壁法、くさびの意義と使用について説明できる。 2. コンポジットレジン修復法を説明できる。	A P168～186。B P129～138の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-1-① 各III-I-4-B
25	6/22 2時限	接着性コンポジットレジン修復法	1. グラスアイオノマーセメントの種類や組成について説明できる。 2. グラスアイオノマーセメントの硬化機構、接着機構について説明できる。	A P187～205。B P139～142の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	C-3-2)-(② E-1-②③ 総XI-14-B
26	6/22 3時限	接着性コンポジットレジン修復法	1. グラスアイオノマーセメントの特色や適応症について説明できる。 2. グラスアイオノマーセメント修復法について説明できる。	A P187～205。B P139～142の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	F-3-3)-(4)-① F-3-4)-(1)-③⑩ 総XI-14-B 各III-I-4-D
27	6/29 2時限	接着性コンポジットレジン修復法	1. 各種レジンセメントの特徴、歯質、金属、ポーセレンに対する接着について説明できる。 2. グラスアイオノマー系レジンセメントの特徴、歯質、修復物への接着機構について説明できる。	A P287～311。B P189～192の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	E-1-④ 総XI-14-A、B、C
28	7/6 2時限	審美修復法	1. コンポジットレジンインレー、セラミック修復の特徴と適応症、窩洞形態の特徴や製作法について説明できる。 2. レジンセメントと関連づけて合着について説明できる。 3. CAD/CAM システムについて説明できる。	A P256～287。B P143～150の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	F-3-4)-(1)-②③⑩⑬ E-1-①② E-2-④ 各XI-8-A、B、C 総XI-11-D
29	7/13 2時限	審美修復法の歯質の変色、漂白、知覚過敏	1. 歯質変色の原因や漂白の適応症や術式について説明できる。 2. 象牙質知覚過敏の原因、症状、診断、治療法について説明できる。 3. 破折歯の原因や処置法について説明できる。	A P313～339。B P169～175の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	F-3-3)-(4)-①② F-3-4)-(1)-② 各III-I-2-H 各III-I-2-H 各III-I-2-A
30	7/20 2時限	法 アマルガム修復	1. アマルガム修復の理工学的特徴、適応症や特色を列挙できる。 2. アマルガムの組成、操作法が理工学的諸性質に及ぼす影響を説明できる。 3. アマルガム修復窩洞の特徴について説明できる。 4. アマルガム修復法における臨床的意義について述べることができる。 5. アマルガム (水銀) の取り扱いについて解説できる。	A P206～222。B P166～174の主要部分を配布プリントおよびスライドにて解説する。	寺中敏夫	F-3-4)-(1)-③⑩ 総XI-7-D 各III-I-4-B、D、E

実習ユニット	一般目標 (GIO)
1. 実習前準備	治療器具の名称と分類を修得する。 天然歯を含めた顎模型の作製法を修得する。
2. 高速切削器具の使用法とアクリル板の切削	タービン用ハンドピースの把持、固定法を修得する。 アクリル板の切削によるハンドピースとバーの侵入深さ、角度の関係を知る。
3. 齲蝕罹患歯質の除去とベース	罹患歯質の除去法を修得する。 齲蝕検知液の特性を理解した上で、その使用法を修得する。
4. メタルインレー修復法	鑄造窩洞修復法の窩洞形成の特徴および鑄造修復法の特徴を理解した上で、基本的窩洞形成手技および暫間インレー作製から、ワックスアップまでの一連の流れを修得し、この過程で基本切削、印象材、石膏、インレーワックス、暫間インレー用材料およびセメントなどの特徴を理解する。
5. コンポジットレジン修復法	コンポジットレジン修復法の窩洞形成の特徴およびコンポジットレジン自体の材料学的特性を理解する。 歯質とコンポジットレジンとの接着機構を理解した上で、コンポジットレジン修復法の術式を修得する。
6. グラスアイオノマーセメント修復法	ガラスアイオノマー修復法の窩洞形成の特徴およびガラスアイオノマー自体の材料学的特性を理解した上で治療術式を修得する。
7. コンポジットレジンインレー修復法	コンポジットレジンインレー修復法の窩洞形成の特徴およびレジンインレー作製から装着までの一連の流れを理解した上で、基本的窩洞形成手技を修得する。
8. 齲蝕罹患歯質の除去とベース、Onlay 形成	隣接面に実質欠損のある齲蝕歯の罹患歯質除去、裏層を施し、窩洞形態を考慮した一連の窩洞形成法を修得する。
9. 筆記試験、実技試験	筆記試験、ならびに修得した基本的な窩洞形成と蝕形を作製する試験に合格する。

教科書〈実習〉		
書名	著者名等	発行所
C 保存修復学実習帳	寺中敏夫 他	保存修復学分野

参考書〈実習〉		
書名	著者名等	発行所
Operative Dentistry 5th ed	Harold O. Heymann 他	Mosby
保存修復学クリニカルガイド	千田 彰 他	医歯薬出版
保存修復学21	田上順次 他	永末書店

評価法 (EV)
小テスト・出席状況 (10%)、前期中間試験 (30%)、前期本試験 (30%)、実習成績 (30%) による総合評価。



授業計画〈実習〉						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
9	5/25 4時限	メタルインレー修復法	1. 窩洞形成試験で合格点を取ることができる。 2. 暫間インレーの仮着ができる。 3. 咬合器付着ができる。	窩洞形成試験を行う。 C メタルインレー製作の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分野教室員全員	E-1-① E-2-②③ F-3-4)-(1)-①②③⑦⑨  総X -2-K 総XI-2-B,C 総XI-3-A 総XI-5-A 総XI-8-L 総XI-14-C 各III-(1)-4-C,D
10	5/25 5時限		1. 咬合器付着ができる。 2. 歯型の分割、調整ができる。 3. 蝟型採得ができる。 (暫間インレー仮着模型提出)	C メタルインレー製作の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分野教室員全員	E-1-① E-2-②③ F-3-4)-(1)-①②③⑦⑨  総XI -5-A 総XI -6-A 各III -(1)-4-C
11	6/1 4時限		1. 窩洞形成試験で合格点を取ることができる。 2. 咬合器付着ができる。 3. 歯型の分割、調整ができる。 4. 蝟型採得ができる。	窩洞形成試験を行う。 C メタルインレー製作の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分野教室員全員	E-1-① E-2-②③ F-3-4)-(1)-①②③⑦⑨  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A 総XI -5-A 総XI -8-L 総XI -14-C 各III -(1)-4-C,D
12	6/1 5時限		1. 咬合器付着ができる。 2. 歯型の分割、調整ができる。 3. 蝟型採得ができる。 (ワックスアップ咬合器提出)	C メタルインレー製作の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分野教室員全員	E-1-① E-2-②③ F-3-4)-(1)-①②③⑦⑨  総XI -5-A 総XI -6-A 各III -(1)-4-C
13	6/8 4時限	コンポジットレジン修復法	1. 窩洞形成試験で合格点を取ることができる。 2. コンポジットレジン修復法の概念を具体的に述べられる。 3. 1、5級コンポジットレジンの窩洞形成ができる。	窩洞形成試験を行う。 C 接着性1級および5級コンポジットレジン修復窩洞形成と充填の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分野教室員全員	E-1-①④ F-3-1)-② F-3-4)-(1)-①②③⑦⑬  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A 総XI -7-A,B 各III -(1)-4-B,D
14	6/8 5時限		1. 5級コンポジットレジン窩洞形成、修復操作ができる。	C 接着性1級および5級コンポジットレジン修復窩洞形成と充填の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分野教室員全員	E-1-①④ F-3-1)-② F-3-4)-(1)-①②③⑦⑬  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A 総XI -7-A,B 各III -(1)-4-B,D
15	6/15 4時限		1. 窩洞形成試験で合格点を取ることができる。 2. 1、5級コンポジットレジン窩洞形成、修復操作ができる。	窩洞形成試験を行う。 C 接着性1級および5級コンポジットレジン修復窩洞形成と充填の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分野教室員全員	E-1-①④ F-3-1)-② F-3-4)-(1)-①②③⑦⑬  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A 総XI -7-A,B 各III -(1)-4-B,D

授業計画〈実習〉						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
16	6/15 5時限	コン ポジ ット レジ ン 修 復 法	3級コンポジットレジン窩洞形成ができる。	C 接着性3級コンポジットレジン修復窩洞形成と充填の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員	E-1-①④ F-3-1)-② F-3-4)-(1)-①②③⑦⑬  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A 総XI -7-A,B 各III -( I )-4-B,D
17	6/22 4時限		1. 窩洞形成試験で合格点を取ることができる。 2. 1、5級コンポジットレジン研磨操作ができる。 3. 3級コンポジットレジン窩洞形成、修復操作ができる。	窩洞形成試験を行う。 C 接着性1級、5級および3級コンポジットレジン修復窩洞形成と充填の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員	E-1-①④ F-3-1)-② F-3-4)-(1)-①②③⑦⑬  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A,B 総XI -7-A,B 各III -( I )-4-B,D
18	6/22 5時限		3級コンポジットレジン窩洞形成、修復操作ができる。	C 接着性3級コンポジットレジン修復窩洞形成と充填の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員	E-1-①④ F-3-1)-② F-3-4)-(1)-①②③⑦⑬  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A 総XI -7-A,B 各III -( I )-4-B,D
19	6/29 3時限		1. 窩洞形成試験で合格点を取ることができる。 2. 3級コンポジットレジンの研磨操作ができる。 3. 2級コンポジットレジン窩洞形成、修復操作ができる。	窩洞形成試験を行う。 C 接着性3級および2級コンポジットレジン修復窩洞形成と充填の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員	E-1-①④ F-3-1)-② F-3-4)-(1)-①②③⑦⑬  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A,B 総XI -7-A,B 各III -( I )-4-B,D
20	6/29 4時限	6/29 5時限	1. 2級コンポジットレジン窩洞形成、修復操作ができる。 2. くさび状欠損に対し、フロアブルコンポジットレジンの修復操作ができる。 3. 根充歯に対し、コンポジットレジン修復ができる。	C 接着性3級および2級コンポジットレジン修復窩洞形成と充填の頁、ならびにくさび状欠損修復窩洞形成とフロアブルコンポジットレジン修復の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。根充歯に対するコンポジットレジン修復法を配布資料、資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員	E-1-①④ F-3-1)-② F-3-4)-(1)-①②③⑦⑬  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A 総XI -7-A,B 各III -( I )-4-B,D
21	6/29 5時限		1. 2級コンポジットレジン窩洞形成、修復操作ができる。 2. くさび状欠損に対し、フロアブルコンポジットレジンの修復操作ができる。 3. 根充歯に対し、コンポジットレジン修復ができる。	C 接着性3級および2級コンポジットレジン修復窩洞形成と充填の頁、ならびにくさび状欠損修復窩洞形成とフロアブルコンポジットレジン修復の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。根充歯に対するコンポジットレジン修復法を配布資料、資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員	E-1-①④ F-3-1)-② F-3-4)-(1)-①②③⑦⑬  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A 総XI -7-A,B 各III -( I )-4-B,D
22	7/6 3時限	7/6 4時限	1. 窩洞形成試験で合格点を取ることができる。 2. 2級コンポジットレジンの研磨操作ができる。 3. くさび状欠損に対し、フロアブルコンポジットレジン研磨操作ができる。 4. 根充歯コンポジットレジン修復の研磨ができる。	窩洞形成試験を行う。 C 接着性2級コンポジットレジン修復窩洞形成と充填の頁、およびくさび状欠損修復窩洞形成とフロアブルコンポジットレジン修復窩洞形成と充填の頁を資料提示カメラパワーポイントにより解説する。根充歯に対するコンポジットレジン 修復法を配布資料、資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員	E-1-①④ F-3-1)-② F-3-4)-(1)-①②③⑦⑬  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A,B 総XI -7-A,B 各III -( I )-4-B,D
23	7/6 4時限		メ ラ ス ア イ オ ノ マ ー 修 復 法	1. グラスアイオノマー修復法の概念を具体的に述べるができる。 2. くさび状欠損に対してグラスアイオノマー修復窩洞形成、修復操作ができる。	C くさび状欠損修復窩洞形成とグラスアイオノマーセメント修復の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員

授業計画 (実習)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
24	7/6 5時限	グラスアイオノマーセメント修復法	根面齲蝕に対してグラスアイオノマー修復窩洞形成、修復操作ができる。	C 根面齲蝕修復窩洞形成とグラスアイオノマーセメント修復の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員	E-1-①④ F-3-1)-② F-3-4)-(1)-①②③⑦⑬  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A 総XI -7-C 各III -( I )-4-B,D
25	7/13 3時限	コンポジットレジンインレー修復法	1. 窩洞形成試験で合格点をとることができる。 2. グラスアイオノマーセメントの研磨操作ができる。	窩洞形成試験を行う。 C くさび状欠損および根面齲蝕修復窩洞形成の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員	E-1-①④ F-3-1)-② F-3-4)-(1)-①②③⑦⑬  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A,B 総XI -7-C 各III -( I )-4-B,D
26	7/13 4時限	コンポジットレジンインレー修復法	2級コンポジットレジンインレー修復の窩洞形成ができる。	C 2級コンポジットレジンインレー窩洞形成の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員	E-1-①④ F-3-1)-② F-3-4)-(1)-①②③⑦⑬  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A 総XI -7-A,B 各III -( I )-4-C,D
27	7/13 5時限	齲蝕罹患歯質の除去とベース、Onlay形成	1. 罹患歯質の除去ができる。 2. 齲蝕検知液が使用できる。 3. ベースセメントの特性を理解した上で、その使用ができる。 4. Onlayの形成ができる。	C 感染歯質の識別と除去の頁を資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。ベースセメントの使用方法を配布資料、資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。Onlayの形成方法を配布プリント、資料提示カメラ、パワーポイントにより解説する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員	E-1-①④ F-3-1)-② F-3-2)-① F-3-4)-(1)-①②③⑦  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A 総XI -7-C 各III -( I )-4-C,D,E
28	7/20 3時限	筆記試験、実技試験	筆記試験、窩洞形成試験、実技試験で合格点を取ることができる。	窩洞形成試験を行う。 実技試験、筆記試験を実施する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員	E-1-①④ E-2-①～⑤ F-1-1)-①④ F-3-1)-② F-3-2)-① F-3-3)-(1)-①② F-3-4)-(1)-①～⑤、⑦ ～⑨、⑪～⑮  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A,B 総XI -4-G 総XI -5-A 総XI -6-A 総XI -7-A,B,C 総XI -8-L 各III -( I )-4-B,C,D,E
29	7/20 4時限		筆記試験、窩洞形成試験、実技試験で合格点を取ることができる。	実技試験、筆記試験を実施する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員	E-1-①④ E-2-①～⑤ F-1-1)-①④ F-3-1)-② F-3-2)-① F-3-3)-(1)-①② F-3-4)-(1)-①～⑤、⑦ ～⑨、⑪～⑮  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A,B 総XI -4-G 総XI -5-A 総XI -6-A 総XI -7-A,B,C 総XI -8-L 各III -( I )-4-B,C,D,E
30	7/20 5時限		筆記試験、窩洞形成試験、実技試験で合格点を取ることができる。	実技試験、筆記試験を実施する。	寺中敏夫、 向井義晴 他、修復学分 野教室員全員	E-1-①④ E-2-①～⑤ F-1-1)-①④ F-3-1)-② F-3-2)-① F-3-3)-(1)-①② F-3-4)-(1)-①～⑤、⑦ ～⑨、⑪～⑮  総X -2-K 総XI -2-B,C 総XI -3-A,B 総XI -4-G 総XI -5-A 総XI -6-A 総XI -7-A,B,C 総XI -8-L 各III -( I )-4-B,C,D,E